

令和3年度第3回狛江市市民活動支援センター運営委員会 議事録

- 1 日時 令和3年12月8日(木) 10:00~11:30
- 2 場所 狛江市役所4階特別会議室
- 3 出席者
委員：伊東達夫 伊藤輝芳 上田英司 小川三男 佐藤新哉 清水信之
松村正俊 三角佐智子 長尾眞木 三島瑞子
事務局：大山寛人 日比野浩 高橋善治
- 4 委任状 委員：青木香奈 伊藤聡子 梶川朋 古川裕朗
- 5 傍聴者 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため傍聴は中止
- 6 議題

(1) 報告事項

- ① 市民活動支援センター開設5周年記念事業の報告について
- ② 令和3年度検討チーム事業(3事業)の報告について
(市民活動を始めるきっかけ講座・社会資源の活用の推進・調査・研究)
- ③ 専門部会からの報告について
(体験学習部会・広報部会・ホームページ部会)

(2) 協議事項

- ① 狛江市市民活動支援センター令和4年度事業計画(案)について

7 配布資料

(事前配布)

[資料1] 狛江市市民活動支援センター令和4年度事業計画書(案)

(当日配布)

各検討チームの活動概要

各専門部会の活動概要

狛江市市民活動支援センター開設5周年イベント(報告)

広報紙こまえくぼ1234 12月号

8 会議概要

(1) 開会

- ① 委員長あいさつ
委員長より挨拶がされた。

(2) 議題

① 報告事項

- ア 市民活動支援センター開設5周年記念事業の報告について
- イ 令和3年度検討チーム事業(3事業)の報告について
- ウ 専門部会からの報告について
資料に基づき、事務局より報告がされた。

(委員長)

各報告事項について、質問等があればお願いします。

(委員)

5周年事業について、事業所からの協賛金はどのくらいあったのか分かれれば教えてほしい。

(事務局)

イベントの趣旨に賛同していただき実行委員会に協賛金をいただいた。出演者に縁のある事業所にも寄付していただいた。

(委員)

「わっこ」と「広報紙こまえくぼ 1234」の掲載内容の仕分けはどのようにしているのか。「わっこ」と統合されたのではないか。

(委員)

統合したのは「広報紙こまえくぼ 1234」ではなく「広報誌こまえがお」だと思う

(事務局)

「わっこ」、「情報紙えくぼ」「広報誌こまえがお」の3つの媒体が類似しているのではないかと指摘があり、今年度から「情報紙えくぼ」の中のイベントやスケジュール、募集の部分を「わっこ」の中にまとめた。「広報誌こまえがお」の内容については、団体に焦点を当てるものは「広報紙こまえくぼ 1234」に載せる、個人に焦点を当てるものについては「わっこ」に載せる、「広報紙こまえくぼ 1234」にはセンター主催の事業やセンターからの情報発信をするように分けている。

(委員長)

事業計画の中の情報発信にもかかわるところなので、すみ分けの部分は大事になる。

(委員)

「わっこ」と「こまえがお」の違いをどこに見出すかということについて、「広報誌こまえがお」発行当初の考え方としては、「わっこ」は団体紹介、「広報誌こまえがお」は、活動する個人の思いを載せようということにした。団体を立ち上げたりする時に興味を持つような取り上げをする、同じ団体でも創設時の思いや今やっている人の思いを載せる。「わっこ」は、個人については時々乗っているが、どんな活動をしているかという団体の紹介で、そういうすみわけをしている。新しく活動する人たちが何に困ってどう解決していったかというところを「広報誌こまえがお」では載せていくということで始めた。

(委員)

「広報紙こまえくぼ 1234」に「こまえがお」が載っているが、「こまえがお」

という広報誌はなくなったが、広報部会の記事が載っているということか。

(委員)

市民活動はそもそも範囲が広い。市民活動支援センターでやっているのは、社会貢献やボランティアをしている人たちの活動を「こまえがお」で報告していると理解していた。

(委員)

社会貢献活動、市民公益活動という概念は広く、「わっこ」でも多様に掲載している。

(委員)

「わっこ」は広く社会教育団体も含めて市民活動を取り上げている。市民活動支援センターはその中でも社会貢献活動をしているところを取り上げていると思う。

(委員長)

この後の計画の議論のところで意見を提案していただきたい。

② 協議事項

狛江市市民活動支援センター令和4年度事業計画書(案)について事務局より資料に基づき、説明がされた。

(委員長)

事務局から説明があったが、これを基に本日は意見を出していただいて、採決は次回の委員会ということになる。

(委員)

専門相談について、オンライン相談でどのような内容の相談が寄せられているか。また、体験プログラムについて、今後コロナウイルスの感染状況が分からない中で想定することは重要だと思うが、リアルな交流や体験の余地はどのくらいあるか、状況が改善されてきた時にどのようにするかというあたりが分かれば教えてほしい。

(事務局)

専門相談については、担当していただく専門家にオンライン対応が可能であることを確認しているが、今のところ相談はない。日時を指定すると、相談したくてもできない団体もあるので、すべてがオンラインではなく、ある程度対面相談を受けて、そのあとに専門家につなげるような形をとり、日程も調整するようにしていくような想定をしている。

体験プログラムに関しては現状ではオンラインでやっているが、リアルでできる状況も今後出てくると思う。

(委員)

オンラインを受ける人は、場所も時間の制約がない。開催側と相談側の両方が自宅で受けるオンラインは考えているか。

(事務局)

センターの開館時間内にするか講師の方との相談になる。オンラインの場合、ホストがセンター（開催側）になるので、基本的には開館時間内を想定し団体の状況に合わせてということになる。

(委員)

調査研究について、結果を5カ年計画に反映するとなっているが、今年度調査した結果は、来年度の事業への反映は考えられないか。

(事務局)

今年度調査をして結果が出る。来年度、その結果をもとにすぐに反映していけるものは来年度の事業に反映を試みていくことになると思う。その中で次の5カ年計画に重点事項としてとらえるものについては5カ年計画に盛り込むことを考えている。今年度調査をまとめて来年度の研究に入った時に、検討チームで議論する中で、どこをセンターとして重点的にやっていかないといけないのか、いろいろ意見を出していただくことになる。

(委員)

できることは来年度の事業に活かしてもらえるといいと思う。

(委員)

分析はいつやるのか

(事務局)

研究については来年度に行う。進行状況により前倒しになる可能性もある。

(委員)

市民活動の情報発信の場は、「わっこ」に統合された方が合理的という判断であったが、「わっこ」については評価するが、市民活動情報誌の「わっこ」自体にセンターが関与するという考えはないか。編集会議にセンターが関与して企画などに意見をすることができるといえる仕組みは考えられないか。

(事務局)

今年度から「わっこ」の発行主体が地域活性課から政策室に移行している。今年度の「わっこ」の記事の内容が、NPO団体の記事が多くなるなど市民活動寄りになっている。現在、編集会議に出ているが、センターからの発信部分のみで全体には関わっていない。今後は全体的なことのやり取りも出てくることもあると思う。

(委員)

市民活動の拠点である市民活動支援センターが情報についても課題についても持っているので、それを活かすように「わっこ」も編集できればより市民活動の色が出てくるので、大いに関与してほしいと思う。

(委員)

令和4年度の事業計画で、目玉にあるようなものが見当たらない。前面に押し出すものがあるといいと思う。

(委員長)

5カ年計画と事業計画の関係性からみると、5カ年計画の基本計画では令和4年度に政策提言があるが、事業計画の中に見当たらない。情報発信についても重点取り組みで取り上げられてはいるが、目玉になるようなものがなく前年度の再掲的なものが多いような気がするということだと思う。このあたりを事務局から説明してほしい。

(事務局)

コロナウイルスの影響で状況が変わってきていることが大きい。活動ができていない団体も多く、どのように計画に反映させていくか先が見えないところもある。その中でも、センターとして情報発信の部分で、団体自身が発信していくということに力を入れていくことが必要と感じている。5カ年計画との関係もあるので突出した表現にはしていない。

(委員長)

調査研究の部分で、10ページと13ページの表現が合っていない。最終的なアウトプットは5カ年計画では政策提言としてあったので、記載した方がよいのではないか。

(事務局)

現在の5カ年計画を立てた当初は、今のコロナ禍の状況は想定されていなかった。調査・研究のように計画当初の予定と1年ずれているところもあるが、5カ年計画自体は、指定管理を受けたときの基本的な計画としてそのままにしている。

(委員)

政策提言の工程はどのようになるか。

(事務局)

令和5年度末で指定管理が切れるので、社協が次の指定管理の選定に向けて令和4年度のあたりで市にまとめたものを提出しなければならないだろうと考えている。

(委員長)

重点取組の中で、状況の変化に合わせてとなっているが、5カ年計画に基づき

各事業に取り組むとなっている。上位目標は5カ年計画になるので、中期項目はそのまま残さないと5カ年計画と年度事業計画の関係性が取れなくなる。

言葉の使い方などは整理をしてほしい。

事業計画については、一通り議論されたと思う。その他意見がある場合は、12月22日までに事務局に出してほしい。

(委員)

「わっこ」と「広報紙こまえくぼ 1234」が別々に出されているということは委託先の目的が違うからだと思う。政策室にこの2つの目的がどう違うのかを確認してはっきりさせてもらい、「広報紙こまえくぼ 1234」を自分たちの道具として使うことを考えてもいいと思う。

(委員長)

事業計画の意見の追加としたい。

(4) その他

(事務局)

・狛江サミットについて

令和4年1月23日(日) 午前10時～正午

市民参加と市民協働に関する審議会とセンターの共催

・第4回運営委員会日程について

後日、4月上旬で日程調整をする。

・令和4年度事業計画については、文書での承認というかたちをとらせていただく。1～2月の間には委員の皆さんに修正案をお届けする予定。

(委員長)

運営委員の任期が2年なので残り5か月となる。本日出された意見を事務局でまとめてもらい、来年度進めていけるようにしていきたい。

本日の委員会はこれで終了とする。